

(別紙2)

令和8年度対話型A I 意見集約システム構築及び効果検証業務委託 公募型プロポーザル審査基準

企画提案書、見積書等の内容を総合的に評価し、最も優れた提案者（以下「最優秀者」という。）の選考を行う。

1 審査について

(1) 資格審査

実施要領に示す参加資格の要件等を満たしていることを確認する。

※要件を満たしていない場合は失格とする。

(2) プレゼンテーション審査

企画提案書等審査は、各委員の合計点数を平均し、点数の大きい順番で順位をつける。
なお、最高得点が複数ある場合は、ランクA（B）の項目が多い者を最優秀者として選考する。

ただし、合計点数の平均が120点に満たない場合、最優秀者として選考しない。

また、ランクFの項目が1つ以上ある場合は、合計点数の平均が高くとも、選考しない場合がある。

2 採点方法

審査項目の(1)～(6)について、審査基準ごとにランク付けを行い、配点に対する係数を乗じて採点する。

ランク	審査区分	係数
A	特に優れた提案となっている/特に優れている	1.00
B	AとCの間	0.80
C	一定の優れた提案となっている/優れている	0.60
D	CとEの間	0.40
E	仕様書の内容は満たしているが、優れている点が認められない	0.20
F	仕様書の内容を満たしていない/提案がなされていない	0.00

3 審査項目等

審査項目	審査基準	配点
(1)業務の基本方針	業務目的及び内容を理解し、積極的な業務提案がなされているか。	10点
(2)提案内容	アンケート回答者へ対話形式で問いかけを行い、潜在的なニーズを引き出し建設的な回答を得るために有効なAIの実装を目標とした提案となっているか。	40点
	古賀市の提供する信頼できるデータを活用し、幅広い分野で古賀市に特化した話題を提示できる仕様を実装するシステムの提案となっているか。	40点
	実用化に向けた目標の達成について、評価内容の捕捉や数値化についての具体的なプランの提示があるか。	30点
	目標値の達成を検証する上で必要な実証実験のステップとシステムのブラッシュアップに関する具体的な展望が示されているか。	30点
(3)実施スケジュール	実施スケジュールは適当か。	20点
(4)実施体制	業務内容が的確に遂行されるための人員と組織の体制が整っているか。	10点
(5)業務実績	生成AIを搭載したアンケートシステム構築に関連する業務実績を有しているか。(最大5件) 1件あたり2点。	10点
(6)価格評価	(全参加者の最低価格/当該参加者の提案価格)×配点	10点
合 計		200点